

近畿大学病院（形成外科）で頭頸部再建の治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院（形成外科）（以下、当科）では、「頭頸部癌切除後の自家組織再建における周術期合併症、嚥下機能、整容性に対する影響因子の検討」という臨床研究を行っています。そのため、当科で頭頸部再建の治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会（<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>）で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、自家組織による頭頸部再建後の合併症、嚥下機能、整容性について調べることを主な目的としています。そのため、当科で頭頸部再建の治療を受けられた患者様のうち、自家組織による頭頸部再建を受けられた方を対象として、診療情報のみを研究に利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供することはありません。

② 利用する情報の項目

2020年4月以降に手術を受けられた方のデータを利用します。

- カルテ情報（年齢、性別、診断名、臨床病期、治療方法、手術に関する情報等）
- 各種検査結果（血液検査・細菌検査・病理学的検査・画像検査等）

なお、当該情報の取得の方法は、以下のとおりです。

- 手術情報、周術期合併症および嚥下機能等のデータに関して、診療記録から収集します。
- 術前術後における頭頸部の通常写真、3次元写真撮影を通常診療において行っているので、それらのデータを収集します。

③ 利用を開始する予定日

近畿大学医学部長による実施許可日（2025年11月27日）

④ 利用する者の範囲

研究責任者：末吉 遊

研究分担者：富田 興一、中尾 仁美

⑤ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合に、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、2030年1月1日以降にお申し出いただいても利用を停止することはできませんので、ご了承ください。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院（形成外科） 末吉 遊

電話：072-288-7222 FAX：072-298-1500

以上